[様式 2-1表] 平成22年度以降採用者用

第一種奨学金貸与月額変更願(届)(増額)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与月額を下記のとおり増額することを願い出ます。

□線内及び必 ■	要事頃は正			ارکار <u>.</u>	11 H100 JX	7 50	ICIEMO ()			提出日	西暦		年		月		日	
<u> </u>		ш ,			学籍番	号				生年月日	西暦		<u>'</u> 年	月		日 (:		歳
1	´ 大学(院)									フリガナ	H / D					- \	11-4	<i>717</i> ×
	短期大学			学	部		学科 (科)		年次	氏 名								印)
	学校			課	程		研究科		学年	(自署)							1	
										•					入	学	年	度
						1								Ľ	2 ()		4
変更後の (予	借用金額 定)																	
変更後の借	用金額は	貸与期間	間中に1	と与され	しる総額(地	軸額分	円 <u>を含む)</u> を配	入してくださ	きい。(月	額とは異な	ります。)							
人的保証の)場合は, 本	人·連帯	保証人	. 保証,	人の訂正的	りが必	の訂正方法に 要です。ま た	≥,訂正金額	复は全て	の桁(ゼロも		L部余白	に記え	えして	こくださ	い。		
		_					は、貸与期間				-	`						
月額変	見(装「	TOTAL COLUMN		7			月額一覧表	と と を 下 日 入居	1	記入して	、たさい。)						
予定の場合	は転居先信 チェック	L PT)	□ 自宅 □ 自宅	居	四階	ź	F 月	日人店	'									
	(自宅	##+:	帯主氏	名			Ŧ		1									
X IL //I	(, ()												
							低月額から											
更	内						低月額から · . ①は入居					-					以降	沙瑁
					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	~ -	, ()(3)(2) 宅月額()か			,							が増	額始
チェ	ッ ク) _							. (,, ,,,		*	, .,		•		-,-		
額 がず	始 記 入	期)]⑤転	学・編え	人学による	5 %						、増	額始	期	:			
~ /	, ,						金継続願に合			是出する		ightharpoonup	0	1		年		
		1	場合の堆	翻始期	については	,学校	の担当者に確	認してください	, ' ₀			Ľ	Ů	_				
かの 奨	₩ A D					_												
	子 宏 月	額				lμ			→ 希	望する	奨 学 🤄	· 月 額						
	子金月	額				円			希	望する	奨 学 会	全 月 額	i mari					
更す		額 由				円			希	望する	奨 学 会	≥ 月 都	imi					
	る 理	由	してい	る保証が	制度にチ <u>:</u>	<u> </u>	してくださ	い。機関保						変更	となり	ます。	,	
	る 理 変 ※ 残 私は、上記・	由担在選択の貸与月	額の増	曽額を承	諾し, 記載	ェック 太の奨	学生番号に。	よって本人だ	、証加入	者は,月額	変更に伴い	保証料月	額が					て保
	る 理 変 ※ 残 私は、上記・	由担在選択の貸与月	額の増	曽額を承	諾し, 記載	ェック 太の奨		よって本人だ	、証加入	者は,月額	変更に伴い	保証料月	額が					て保
	る 理 変 ※明 私は、上記は し、関係法令	由 見在選択 の貸与月 令及び返	額の増	割額を承書等に	諾し、記載したがって	ェック 太の奨	学生番号に。	よって本人だ	、証加入	者は、月額る一切の債	変更に伴い務につき、も	保証料月	額が					て保
保証制品	を 数は、上記し、関係法令 機構届	由 見在選択 の貸与月 令及び返	月額の境 還誓約	簡額を承書等に 住	諾し,記載 したがって 〒 所	ェック 太の奨	学生番号に。	よって本人だ	、証加入	者は,月額	変更に伴い 務に つき , a 電記	保証料月 を学金の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	額が	完了		大さ		
保証制.	を (本) 大学 (本) 大学 (由 の貸与F の登与 を のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと	朝の境 還誓約	額を承書等に 住 氏	諾し、記載 したがって 〒 所 名	エック 域の奨 債務	学生番号に。 覆行の責を負	よって本人 <i>だ</i> います。	が負担す	者は、月額である一切の債実印	変更に伴い 務につき , 割 電記 (^{昭和}	保証料月 経学金の: 舌番号 _{平成)} 三月日	額が返還の	年	了まで オ	月	連帯し	日
保証制点 人的保証 欄を記入 印鑑証明	を (本) 大学 (本) 大学 (由 記在選択 の貸与 の入び の入び の入 の の の の の の の の の の の の の	用額の増 還誓約	曾額を承書等に 住 氏 額を承	諾し、記載したがって 〒 所名	エック 域の奨 債務!	学生番号に。 覆行の責を負	よって本人 <i>だ</i> います。	が負担す	者は、月額である一切の債実印	変更に伴い 務につき , 割 電記 (^{昭和}	保証料月 経学金の: 舌番号 _{平成)} 三月日	額が返還の	年	了まで オ	月	連帯し	日
保証制点 人的保証 欄を記入 印鑑証明	を 数は、上記 数 数 数 数 数 数 数 数 数	由 記在選択 の貸与 の入び の入び の入 の の の の の の の の の の の の の	用額の増 還誓約	額を承書等に 住 氏 の額を承務	諾し、記載したがって 〒 所名 諾し、記載 履行の責	エック 域の奨 債務!	学生番号に。 覆行の責を負	よって本人 <i>だ</i> います。	が負担す	者は、月額である一切の債実印	変更に伴い 務につき、 引 電記 (®和 生生	保証料月 登学金の: 舌番号 _{平成)} 三月日	額が返還の	年	了まで オ	月	連帯し	且
保証制点 人的保証 欄を記入 印鑑証明	を (私は、上記法 (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語)	由 担在選択 の貸与 ララング の 日本 記証 人 の は り り り り り り り り り り り り り り り り り り	用額の増 還誓約	額を承書等に 住 氏 の額を承務	諾し、記載したがって 〒 所名	エック 域の奨 債務!	学生番号に。 覆行の責を負	よって本人 <i>だ</i> います。	が負担す	者は、月額である一切の債実印	変更に伴い 務につき、 引 電記 (®和 生生	保証料月 医学金の 活番号 平成) 三月日 医学金の 話番号	額が返還の	年	了まで オ	月	連帯し	日
保証制点 人的保証 欄を記入 印鑑証明	を 私は、よ記法・ 様本 は、と語法・ 様本 は、と語法・ 様本 は、と語法・ 様本 は、と語法・ 様本 は、と語法・ 様本 は、と語法・ 様本 は、と語法・ 様本 は、と語法・ 様本 は、と語法・ 様本 は、と語法・ は、と語と・ は、と言と、 は、と言と、 は、とこと、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	由 ・ は在選択の合 なが の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ は ・ の ・ の ・	目額の増売を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	曾額を承 書 住 氏 額を務 住	諾し、記載したがって 〒 所名 諾し、記載 履行の責	エック 域の奨 債務!	学生番号に。 覆行の責を負	よって本人 <i>だ</i> います。	が負担す	者は、月額る一切の債実印の債	を更に伴い 務につき、 3 電記 生生 務につき、 3 電記 生生 第につき、 3	保証料月 医学金の 活番号 平成) 三月日 医学金の 話番号	額が。	年	了まで オ	月	連帯し	且
保証制度 人的保証 欄を記入 印鑑証明 系付	を (本) 上、 (本) 上 (本) 上 (由 現在選択 の育及びび返 の書等にし の書等にし を受ける	羽の地域を ・ の地域を ・ の地域を ・ 一 変	額書 住 氏 額を務 住 氏 保証	諸し、記載したが下 名 諸し、記載で 名 諸し、記載で 子 名	エック ク	学生番号に、学生番号に、ます。	よって本人なないます。	が負担す	者は、月額省る一切の債実印の債実印の場合に委託し	変更に伴い 務につき、ま 電話の和生生 発作してき、ま 電話の和生生	保証料月 を学金の: 毛番号 平成) 三月日 と学金の: 毛番号 平成) 三月日	額が返還の	年年年年	了まで作	月	連帯し	法令
保証制度 人的保証 欄を記入 印鑑証明 然付	を (本) 上、 (本) 上、 (本) 上、 (本) 上、 (本) 上、 (本) 一 (本) 一	由 型在選択 の育及びび返 の書 の書 の書 の書 の書 の の の の の の の の の の の の の	部では、	贈額を承に は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	諾し、記載したがってで所名 諾し、記載である。 諾し、記載である。 諾と、記載である。 「である。 「である。 「である。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「で	エック 変数 しまきい なるに	学生番号に、 で変える。 学生番号に、 ます。 益財団法人E 間協会に支払	よって本人ななって本人ないます。	証加入 が負担す が負担す うなとしている。	者は、月額である一切の債実印であるに委託し	変更に伴い 電 の を き き 電 に の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	保証料月 を学金の: 毛番号 平成) 三月日 と学金の: 毛番号 平成) 三月日	額が返還の	年年年年	了まで作	月	連帯し	法令
保証制度 人的保証 欄を配入明 18位 機関保証 届田の連帯	を ・ 注 は、上 係 株 本 子 記 は、上 係 株 本 子 記 は、上 係 株 本 子 記 は は 上 密 が 返 機 保 自 食 立 不 正 な で 変 立 不 正 ま で ま で ま ま で ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	連出を選択を表現である。 連選をはいる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	月額の増 調響を ・ 額の増 ・ 額のがっ ・ 学生 ・ 要学生 ・ 要学生 ・ 要要理(額を承に 氏 額を務て 住 氏 保機機 で 後 後 産 等 で は で 接 機 産 等 で は し か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か	諾し、記載したがってで所名 諾し、記載である。 諾し、記載である。 諾と、記載である。 「である。 「である。 「である。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「できる。 「で	エック 変数 しまきい なるに	学生番号に、学生番号に、ます。	よって本人ななって本人ないます。	証加入 が負担す が負担す うなとしている。	者は、月額である一切の債実印であるに委託し	変更に伴い 電 の を き き 電 に の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	保証料月 を学金の: 毛番号 平成) 三月日 と学金の: 毛番号 平成) 三月日	額が返還の	年年年年	了まで作	月	連帯し	法令
保証制度 人的保証 機関保証 機関保証 本人が未	を ・	連出を選択を表現である。 は在賞なびの配子では、 の書のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	日額の均 調響を ・ 額の切っ ・ 学生 要理(・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	館籍書 住 氏 額を承に かい	諾し、記載したがって 所名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	エックク 奨成の で	学生番号に、 で変える。 学生番号に、 ます。 益財団法人E 間協会に支払	よって本人な はいます。 よって本人な は本国際教育 うこととして ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が負担す が負担す が負担す 「多支援ない などことを変	者は、月額名の債実印の債実印の債実のの債実のの債実のの債実のの債	変更に伴い 電 の を き き 電 に の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	保証料月 を学金の: 毛番号 平成) 三月日 と学金の: 毛番号 平成) 三月日	額が返還の	年年年年	了まで作	月	連帯し	法令
保証制度 人的保証 欄2配子 機関保証 届田の連帯 本人が未	を 本の 本 本 本 本 本 本 本 本	連出を選択を表現である。 は在賞なびの配子では、 の書のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	日額の均 調響を ・ 額の切っ ・ 学生 要理(・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	館籍書 住 氏 額を承に かい	諾し、記載したがって 所名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	エックク 奨成の で	学生番号に、 覆行の責を負 学生番号に、 ます。 益財団法人E 別協会に支払 提出前に「連門	よって本人な はいます。 よって本人な は本国際教育 うこととして ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が負担す が負担す が負担す 「多支援ない などことを変	者は、月額名の債実印の債実印の債実のの債実のの債実のの債実のの債	変更に伴い 電 の を き き 電 に の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	保証料月 を学金の: 毛番号 平成) 三月日 と学金の: 毛番号 平成) 三月日	額が返還の	年年年年	了まで作	月	連帯し	法令
保証制度 人的保証 欄を記入明 組織証明 本人が未っ 保護権を係り 保権を係り	を (本) は、関係を (本) は、関係を (本) は、関係を (本) は、関係を (本) は、関係を (本) は、遺伝を (本) は、遺伝を (本) は、遺伝を (本) は、一 (本) は 、一 (本) は 、 (本) は 、 (も) は も) は も) は も) は も	連出を選択を表現である。 は在賞なびの配子では、 の書のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	日額の均 調響を ・ 額の切っ ・ 学生 要理(・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	館籍書 住 氏 額を承に かい	諾し、記載したがって 所名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	エックク 奨成の で	学生番号に、 覆行の責を負 学生番号に、 ます。 益財団法人E 別協会に支払 提出前に「連門	よって本人な はいます。 よって本人な は本国際教育 うこととして ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	証証加入 が負担す うてに でで でで でで でで でで でで でで でで でで で	者は、月額 実印 る一切の債 実印 る会に委託し 東届)を提出	変更に伴い 電 の を き き 電 に の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	保証料月 を学金の: 毛番号 平成) 三月日 と学金の: 毛番号 平成) 三月日	額が返還の	年年年年	了まで作	月	連帯し	法令
保証制度 人的保証 関印監証明 を 放表 機関保証	を 私は、関係を 機連(自上誓を 機は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺籍・ は、遺産・ は、遺産・ は、遺産・ は、遺産・ は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	連出を選択を表現である。 は在賞なびの配子では、 の書のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	日額の均 調響を ・ 額の切っ ・ 学生 要理(・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	館籍書 住 氏 額を承に かい	諾し、記載したがって 所名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	エックク 奨成の で	学生番号に、 で変える。 学生番号に、 学生番号に、 ます。 を は 対団法人に を が 提出前に「連門	よって本人な はいます。 よって本人な おっこととして うこととして うことに同う	証証加入 が負担す うてに でで でで でで でで でで でで でで でで でで で	者は、月額(実印)の債 実印)の債 る一切の債 実印)。 変属)を提出い	変更に伴い 電 の を き き 電 に の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	保証料月 を学金の: 毛番号 平成) 三月日 と学金の: 毛番号 平成) 三月日	額が返還の	年年年年	了まで作	月	連帯し	法令
保証制度 人的保証 欄包盤付 機関係 正本人が 本上住機氏 住機氏 住機 各 月 日	度 私し、 機連 (4 と 本 の 本 で) を (4 と) を (4 と) を (4 と) を (5 と) を (6 と) を (7 を) を (8	連出を選択を表現である。 は在賞なびの配子では、 の書のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	日額の均 調響を ・ 額の切っ ・ 学生 要理(・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	館籍書 住 氏 額を承に かい	諾し、記載したがって 所名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	エックク 奨成の で	学生番号に、 で変える。 学生番号に、 学生番号に、 ます。 を は 対団法人に を が 提出前に「連門	よって本人ななって本人ななって本人ないます。	証加人 が負担す うくだい等で 意し し	者は、月額 (実印)の債 (実印)の債 (実印)を提出し、 ・。 電話番号 (昭和平成)	変更に伴い 電 の を き き 電 に の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	保証料月 医学金の 番号 平成) 三月日 医学金の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	額が返還の	年年年年	?まで# ?まで作	月	連帯し	法令
保証制度 (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株)	度 私し、 機連 自上雲 機能 最近 全 大	連出を選択を表現である。 は在賞なびの配子では、 の書のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	日額の均 調響を ・ 額の切っ ・ 学生 要理(・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	館籍書 住 氏 額を承に かい	諾し、記載したがって 所名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	エックク 奨成の で	学生番号に、 で変える。 学生番号に、 学生番号に、 ます。 を は 対団法人に を が 提出前に「連門	よって本人ななって本人ななって本人ないます。	証証加入 が負担す うてに でで でで でで でで でで でで でで でで でで で	者は、月額 実印 の債 実印 の債 実印 の債 実印 の債 実印 の債 実印 番金に委託し 電電 曜年 番 中別 日 号 (昭年 番 平成)日	変更に伴い 電 の を き き 電 に の を を を を を を を を を を を を を を を を を を	保証料月 医学金の 番号 平成) 三月日 医学金の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	額が返還の	年年年年	?まで# ?まで#	月	連帯し	法令
保証制	を 「私し、関係を 機連(自上誓を 機は、関係を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	担在選与返 出呆 の書 出人 を法 証 場貸 「権権者がそ		額書住氏額で住氏の援唆入る	諾し、記載したが「「名」「話したが「下」「名」「話したが「下」「名」「おきます」「ままます」「ままます」「ままます」「ままます」「ままます」「ままます」「ままます」「まままます」「まままます」「ままままます」「ままままます」「まままままままま	エック 変成の 変い なん しょう はん しょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしん はんしん はんしんしん はんしん はんしん はんしん はんしん は	学生番号に、 で変える。 学生番号に、 学生番号に、 がよ支払 が出前に「連べ は申請を行う	よって本人なないます。 は本国際教育 は本国際教育 うことに、同 うことに、同 には、	証証加入 が負担す が負担す が負担す が負担す が負担す にはい変で もします	者は、月額(集甲) 切の債 実印 切の債 実印 切の債 実印 切の債 実印 切の債 実印 切り債 実印 場合 で	変更に伴い 務につき、 ま 電話 間和 生生 務につき、 ま 電話 間和 生生 ますので、 代 でてください。	保証料月 医学金の 話番号 平月日 医番号 (日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	額が返還の 返還の ほうしゅ ほうしゅ ほうしゅ ほうしゅ ほうしゅ ほうしゅ はいしゅう はい	年)完了 年 全額か	?までな ?まで化 月 月 ごごい。#	人と 月 配し 月 現確者	連帯し , 関係	日
保証制度 (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株)	を (表示) 大田 (本の) 大田 (理解 「大き」 は、	額の	額書住氏額で住氏の援産入いる場合には、不動物を表しては、一種の関係を受しています。	諾し、が 〒 名 諾	エックク 変し、 変し、 でで記入し、 でで記入し、	学生番号に、 で変える。 学生番号に、 学ます。 はないでは、 とはないでは、 とはないでもは、 とはないでもは、 とはないでもは、 とはないでもは、 とはないでもは、 とはないでもは、 とはないでもは、 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。 とはな。	よって本人な はいます。 よって本人な は本うことに同う 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」	証が負担す 担す 様ない 変す すっぱい できます はない 変する はいました こうかん はいました はいました はいました はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	者は、月額 (実印) の債 (実印) の債 (実可) の債 (実可) の債 (実可) の債 (大力) の債 (大力) の債 (大力) の行 (大力) の行 (大力	変更に伴い。 電に作い。 電にのき、まであれば、 の生と、までは、 の生と、までは、 の生と、までは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	保証料月 医学金の 話番号 平月日 医番号 (日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	額が返還の 返還の ほうしゅ ほうしゅ ほうしゅ ほうしゅ ほうしゅ ほうしゅ はいしゅう はい	年)完了 年 全額か	?までな ?まで化 月 月 ごごい。#	人と 月 配し 月 現確者	連帯し , 関係	日
保証制度 体 記記制度 体 記記証制度 体 記記証 ・ 一	を	地震 で は かっと は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	利額の内容を表現である。 現場では、 「現場を表現である。 「現場を表現である。 「現場を表現である。 「現場を表現である。」 「現場を表現である。」 「はないない。」 「はないないない。」 「はないないない。」 「はないないないない。」 「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	額書住氏額で住氏の援吸入る	諾し、記載したが「下名 諸をです」という。 はたが「下名 諸をでする。 「おかってでする。」という。 「おいってでする。」という。 「おいってでする。」という。 「おいってでする。」という。 「おいってでする。」という。 「おいってでする。」という。 「おいってでする。」という。 「おいってでする。」という。 「おいってでする。」という。 「はいってでする。 「はいってできる。 「はいってできる。	エック 変成の 変い なん しょう なん できない 本語 から なん とう	学生番号に、 愛行の責を負 学生番号に、 学生番号に、 学生番号に、 学生番号に、 学生番号に、 を制聞気に支運薬 と申請を行	よって本人な はいます。 よって本人な は本うことに同う 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」	証 加 人 担 す すくだ 正 し	者は、月額(集甲) の債 実印 が また で 年 話 和 年 月 大人人人 大人人 大人人 大人人 大人人 大人人 大人人 大人人 大人人	変更に伴い を要に伴い できょう 電話 卵生生 きょう 電話 卵生生 ますので、 のででは かんに できます かんに できない これ できない これ できない これ これ できない これ できない これ これ できない これ これ できない これ	保証料月 金の ・ 番 成)日 ・ 一 金 番 成)日 ・ 一 で 番 で か 日 な ま で で 人	額が。 返還の 返還の 必要に できます できます かいかい あいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	年の完了年額がででくれている。	アまでな アまで作 Packs No. 3	人と 月 配し 月 現確者	連帯し , 関係 - E - E - E - E - E - E - E - E	日とは、一日とは、一日には、日本のでは、日本には、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、
保証制度 保証制度 人的 <u>網面監証</u> 機関の 大記 連帯未 上 住機氏(直径と下)の 「乗のこと」の 「乗のこと 「を 「を 「を 「を 「を 「を 「を 「を 「を 「を	を 私し, 機連 (自上誓 機正) 与政 (本) 本版 (大) 下 下 下 下 下 下 下 下 下	地震 で は かっと は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	利額の内容を表現である。 現場では、 「現場を表現である。 「現場を表現である。 「現場を表現である。 「現場を表現である。」 「現場を表現である。」 「はないない。」 「はないないない。」 「はないないない。」 「はないないないない。」 「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	額書 住 氏 額債 住 氏 の援 酸 入 る	諾し、記載したが「下名 諸をです」という。 はたが「下名 諸をでする。 「おきまます」では、 「おいて 「 名	エック 変成の 変い なん しょう なん できない 本語 から なん とう	学生番号に、 愛行の責を負 学生番号に、 学生番号に、 学生番号に、 学生番号に、 学生番号に、 を制聞気に支運薬 と申請を行	よって本人な はいます。 よって本人な は本うことに同う 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」	証証加入 担すす が負担すす がり では、	者は、月額 集印 東印 切の債 実印 切の債 実印 ある。 更届 を作出 番 乗日 番 乗日 番 乗日 乗 話 和 平月 番 成日 日本 スプール して なんしんして しょうしゅう はんしょう はんしょく はんしょ	変更に伴いきます。 電電 卵生生 まっぱ 電 卵生生 まっぱ 電 ので はい ので であかれば であかれば でんかん は でんがん は でんかん は でん は で	保証料月 保証料月 金子番 号 平月 1 金の 1 金の 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	額が 返還の 返還の 必必 で	年 つ完了 年 額か でくだ 須入	7まで4 7まで4 7まで4 1 1 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	人と 月 配し 月 現確者	連帯し , 関係	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
保証制度 人的機能証 機関的 人的機能証 機関の 人的機能証 機関の 人的機能証 機関の 人的機能証 機関の 人が記 に関係と に関係を	を	地震 で は かっと は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	月額をおり、	額書 住 氏 額債 住 氏 の援 酸 入 る	諾し、が 〒 名 諾 で 所 名 を が 下 名 に つ で	エック 変成の 変い なん しょう なん できない 本語 から なん とう	学生番号に、 学生番号に、 学生番号に、 学生番号に、 学生番号に、 がは会ににし、 が、親権をおい、 でできれている。	よって本人な はいます。 よって本人な は本うことに同う 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」 「自」	証証加入 担すす が負担すす がり では、	者 さ	変更に伴い	保証料月 保証料月 金子番 号 平月 1 金の 1 金の 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	額返還の 返還の 「	(元) 年 (元) (元) (元) (元)	7まで4 7まで4 7まで4 1 1 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	人 月 証 月 現後 産乳人 [連帯し ・関係	日 会 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。 この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。 機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。 また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

(17.4)

第一種奨学金貸与月額変更願(届)(減額)

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。

私は、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与月額を下記のとおり減額することを願い出ます。 つきましては、返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容から、貸与月額の減額に係る一切の債務に関しても、 確認書並びに返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

	: 号		- 学籍番号	L			提出日	西暦	年	月	E	1	_
1 0			子稽笛 夕				生年月日	西暦	年	月	日	(満	歳
大学 (院)		学	部	· 学科(科)		年次	フリガナ						
短期大学 学校		課	£E.	研究科		学年	氏 名 (自署)						印)
		珠	住	研先件	:	子午	(14)						
入 学 年 度 0 年 年									機構使用欄 (変更始期)	2	9 1		月
月額変更 (裏面の	の「第一種	種奨学	金変更可	能月額一覧表	長」を参照し	て記	入してく	ださい。)				
人 現 住 月 居予定の場合は転居先住所 ☑ 該 当 に チ ェ ッ ク))	片	西暦	年 月	日入居								
族住所(自宅)	世帯主	:氏名)	Ŧ									
			変更して	ler*	7. 5	2.E.O.		対ロの担	△はるの日) 水油	· 岁百 4人 廿日	()配扣 不	-t'\
			いら自宅月額 いら自宅・	額へ 自宅外低月額へ		5月の	笠月(月り	が口い場	合はその月)小小似	級好 期	(選択个	-J <i>)</i>
変 更 内 容 (☑ 該当するいずれかに			変更せず		本願(居)を学材	交へ提出し	た月の					
チェック) ・ 希望する減額始期			から自宅月 から自宅・	額へ 自宅外低月額〜	属する年	三度の4	・ ・ <u>月</u> (当該年 台月が5月じ	度採用	減額始其	! :			_
(Bの①~⑤のみ記入)	□3自宅 □4大学		ら自宅・自	宅外低月額へ	合は貸着	5開始.	月) <u>以降</u> で,	本人が	$\begin{bmatrix} 2 & 0 \end{bmatrix}$	1	年		
			学による※				が可能な範	i囲に限		1	_		
	*/ 45 3 24 V	3 224 V (AMV 44+	ET 4-24/1/2 22	CA MARKETIS A 1] [1111. 1	18 A 22 A 455		511 WH 01		262711		-
前の奨学金月 8		子金継続		・ 金継続願に合わせ	せて月額変更願を掛		場合の減額			旦当者に	・傩認して	(ran.	
				' '									
更 す る 理 目	Ħ			,					•				
		λ									<u>'</u>		
本人が未成年者の場 上記の者が、現在貸与	合のみ記		金につい	て本申請を行う	ことに同意しま	∶ुंचे							
本人が未成年者の場 上記の者が、現在貸与 記 住 所	合のみ記		金につい	て本申請を行う	ことに同意しま		電話番号				<u>'</u>		
本人が未成年者の場合 上記の者が、現在貸与 記	合のみ記		金についっ	て本申請を行う	ことに同意しま)	(昭和・平成)						
本人が未成年者の場。 上記の者が、現在貸与 程 住 所 (銀機者・後見人) 氏 名 ((自署)	合のみ記		金金についっ	て本申請を行う)	(昭和·平成) 生年月日		年		月	II.	
本人が未成年者の場 上記の者が、現在貸与 上記の者が、現在貸与 住 所 (⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽⁾⁽	合のみ記		金につい	て本申請を行う)	(昭和·平成) 生年月日 電話番号		年		FI.	В	
本人が未成年者の場。 上記の者が、現在貸与 上記の者が、現在貸与 に (銀権者・後見人) 氏 名 (自署) に 住 所	合のみ記		金につい	て本申請を行う	(FI)	(昭和·平成) 生年月日		年		ĘĮ	В	
本人が未成年者の場 上記の者が、現在貸与 上記の者が、現在貸与 一住所 (親権者・後見人) 氏(自署) 〒 住 所 (親権者) 氏、名 (自署)	合のみ記すを受けてします。 両親がい	ハる奨学 の欄に自! の場合は,	署・押印して< 。 必ず二名と	(ださい。親権者が も配入してください	連帯保証人の場合。いずれかがいな	治・本治・本治・本治・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	(昭和・平成) 生年月日 電話番号 (昭和・平成) 生年月日 人が未成年記 は一人が記	入し, 余白	<u>年</u> 公ず自署・押日 こ一人の旨を	, してくた	, 月 ごさい。 親材	日	
本人が未成年者の場上記の者が、現在貸与 上記の者が、現在貸与 住所(機権者・後見人) 氏(自署) 「住居」」 「住所」 (機権者・後見人) 氏(自署) 「大後者」 (自署) 「大後者」 (自署) 「大後者」 (自署) 「大後者」 (自署) 「大後者」 (自署) 「大後者」 (自署)	合のみ記 を受けてし がそれぞれ す。 両親がい い、奨学金申	の欄に自まる場合は、	署・押印して< , 必ず二名と , 親権者又は後	(ださい。親権者が も記入してください を見入」から変更さ	連帯保証人の場合。いずれかがいな	治・本治・本治・本治・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	(昭和・平成) 生年月日 電話番号 (昭和・平成) 生年月日 人が未成年記 は一人が記 この旨を記入	入し,余白 (してください	年 公ず自署・押印 こ一人の旨を	, してくた	, 月 ごさい。 親材	日	
本人が未成年者の場上記の者が、現在貸与 上記の者が、現在貸与 住所(機権者後見人) 氏、名(自署) 中住所(規権者) 氏(自署) が未成年者の場合には、親権者 親権者のことで、通常は両親では、後見人が自署・押印してくださ 上記記載のとおり相)	合のみ記 を受けてい すがそれぞれ で、両親がい い、、奨学金月 違ないこ	の欄に自は、	署・押印して< 必ず二名と 親権者又は移 明 します	《ださい。親権者が も記入してください も記入」から変更さ - 。	連帯保証人の場合。いずれかがいな	治・本治・本治・本治・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	(昭和・平成) 生年月日 電話番号 (昭和・平成) 生年月日 人が未成年記 は一人が配 つしている。	入し, 余白	年 公ず自署・押日 こ一人の旨を 。 劇(必須)	叩してくた記入して	, 月 ごさい。 親材	日 権者とは, 後見人が	いる場
本人が未成年者の場上記の者が、現在貸与 上記の者が、現在貸与 住所(機権者・後見人) 氏(自署) 中住所(機権者・後見人) 氏(自署) に、後に、第一年 に、後に、第一年 に、後に、現権者のよどで、通常は両親では、後見人が自署・押印してくださ	合のみ記 を受けてし がそれぞれ す。 両親がい い、奨学金申	の欄に自は、	署・押印して< , 必ず二名と , 親権者又は後	(ださい。親権者が も記入してください を見入」から変更さ	連帯保証人の場合。いずれかがいな	治・本治・本治・本治・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	(昭和・平成) 生年月日 電話番号 (昭和・平成) 生年月日 人が未成年記 は一人が記 この旨を記入	入し,余白 (してください	年 公ず自署・押F と一人の旨を 。 劇(必須)	, してくた	, 月 ごさい。 親材	日	いる場
本人が未成年者の場上記の者が、現在貸与 記を 住所((製権者・後見人) 氏(自署) 〒 住所(製権者) 〒 住所(製権者) 〒 住所(製権者) 〒 住用名) 〒 住用名) 〒 住用名) 〒 住用名) 〒 住理権者のよどで、通常は両親では、後見人が自署・押印してくださ上記記載のとおり相談(学校の証明)	合のみ記 を受けてい すがそれぞれ で、両親がい い、、奨学金月 違ないこ	の欄に自は、	署・押印して< 必ず二名と 親権者又は移 明 します	《ださい。親権者が も記入してください も記入」から変更さ - 。	連帯保証人の場合。いずれかがいな	治・本治・本治・本治・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	(昭和・平成) 生年月日 電話番号 (昭和・平成) 生年月日 人が未成年末 人な一人が記人 しての旨を記人 返提	入し, 余白 (してください 学校記入構 選 誓 出 (☑	年 公ず自署・押F と一人の旨を 。 劇(必須)	プレてくた 記入して 機 相 入)	月 ごさい。親れ くください。 舞	日 権者とは、後見人が	いる場
本人が未成年者の場上記の者が、現在貸与 上記の者が、現在貸与 住所(機権者後見人) 氏、名(自署) 中住所(規権者) 氏(自署) が未成年者の場合には、親権者 親権者のことで、通常は両親では、後見人が自署・押印してくださ 上記記載のとおり相)	合のみ記 を受けてい すがそれぞれ で、両親がい い、、奨学金月 違ないこ	の欄に自は、	署・押印して< 必ず二名と 親権者又は移 明 します	《ださい。親権者が も記入してください も記入」から変更さ - 。	連帯保証人の場合。いずれかがいな	社,本合 会自にそ	(昭和・平成) 生年月日 電話番号 (昭和・平成) 生年月日 人が未成年末 人な一人が記人 しての旨を記人 返提	入し、余白に してください 学校記入村 選 誓 出 (型	年 公ず自署・押印 こ一人の旨を 。 劇(必須) 約 を 書記	プロしてくた 配入して 機	月 ござい。親れ ください。 す	日 権者とは、後見人が	いる場
本人が未成年者の場合 上記の者が、現在貸与 上記の者が、現在貸与 住 所 (機権者・後見人) 氏 (自署) 〒 住 所 (機権者・後見人) 氏 (自署) 『 下 (機権者) 名 (自署) が未成年者の場合には、親権者 親権者のことで、通常は両親でなれ、後見人が自署・押印してくださ上記記載のとおり相談 (学校の証明)	合のみ記を受けていまた。 両親がい 説い。 奨学金 は は ない こ 白の方としてく	. 、 る 奨 学 の 欄 に 自 は	署・押印して ・ 必ず二名と ・ 拠権者又は ・ 親権 します 月 なお、職印の なお、職印の なお、職のの と	(ださい。親権者が も配入してくださ を見人」から変更さ - 。 日	印即はおいずれかがいないでいる場合は、メ	社,本合 会自にそ	(昭和・平成) 生年月日 電話番号 (昭和・平月日 (中年月日 人が一人が記入 人な一人が記入 しての旨を記入 返提 ※返)	入し、余白に してください 学校記入村 選 誓 出 (型	年 公ず自署・押印 こ一人の旨を 。 。 劇(必須) かを書記 の上、「済」に	プロしてくた 配入して 機	月 ござい。親れ ください。 す	日 確者とは、後見人が	いる場

第一種奨学金変更可能月額一覧表(平成17年度以降入学者の場合)

	区	分		自宅月額	自宅外月額	自宅・自宅外低月額
大学		国公立	1	45,000円	② 51,000円	③ 30,000円
		私立	1	54,000円	② 64,000円	③ 30,000円
短期大学		国公立	1	45,000円	② 51,000円	③ 30,000円
		私立	1	53,000円	② 60,000円	③ 30,000円
大学通信	教育(通年スクー	ーリング)	1	54,000円	② 64,000円	③ 30,000円
大学院	修士•博士前期	開課程及び専門職大学院の課程		88,0	000円	③ 50,000円
	博士•博士後期	課程	1)2	122,0	000円	③ 80,000円
高等専門	学校	国公立		21,000円	② 22,500円	③ 10,000円
(1~3年	F 次)	私立	1	32,000円	② 35,000円	③ 10,000円
高等専門学校		国公立		45,000円	② 51,000円	③ 30,000円
(4.5年次)		私立		53,000円	② 60,000円	③ 30,000円
専修学校	専門課程	国公立		45,000円	② 51,000円	③ 30,000円
		私立	1	53,000円	② 60,000円	③ 30,000円

「第一種奨学金貸与月額変更願(届)」(以下, 「月額変更願」という。)は, 上表及び下記事項に留意のうえ記入してください。

A. 通学形態変更あり

- 1. 自宅通学から自宅外通学に変更する場合
- (1)月額が変更しない場合:自宅外通学であっても、自宅月額(又は自宅・自宅外低月額)のままの貸与希望の場合、 「月額変更願」は提出不要。
- (2)月額を増額変更する場合

上表①→②又は③→②に変更する場合:「月額変更願(増額)」とあわせて、自宅外である事実を確認できるものを学校に提出する。 人的保証選択者の場合、連帯保証人・保証人の自署・押印及び印鑑登録証明書の添付が必要。

- (3) 月額を減額変更する場合
- 上表①→③に変更する場合:「月額変更願(減額)」を学校に提出。自宅外である事実を確認できるものは提出不要。 人的保証選択者であっても連帯保証人・保証人の自署・押印及び印鑑登録証明書の添付はともに不要。
- 2. 自宅外通学から自宅通学に変更する場合
 - (1) 月額が変更しない場合: 自宅外通学であっても、自宅外月額を選択していなかった場合、「月額変更願」の提出は不要。
 - (2)月額を増額変更する場合
 - 上表③→①に変更する場合:「月額変更願(増額)」を学校に提出。

人的保証選択者の場合, 連帯保証人・保証人の自署・押印及び印鑑登録証明書の添付が必要。

- (3) 月額を減額変更する場合
- 上表 $2\rightarrow 0$, $0\rightarrow 3$ 又は $2\rightarrow 3$ に変更する場合:「月額変更願(減額)」を学校に提出。

人的保証選択者であっても連帯保証人・保証人の自署・押印及び印鑑登録証明書の添付はともに不要。

※②→①の減額は必ず提出が必要です(大学院を除く)。提出が遅れた場合は遡及して減額処理を行います。

B. 通学形態変更なし

- (1)月額を増額変更する場合
- 上表①→②, ③→①又は③→②に変更する場合:「月額変更願(増額)」を学校に提出。

人的保証選択者の場合,連帯保証人・保証人の自署・押印及び印鑑登録証明書の添付が必要。

※元々自宅外通学だが、自宅通学の月額を貸与の者が、自宅外通学の月額に変更する場合も含む。

- (2)月額を減額変更する場合
- 上表を②→①, ②→③又は①→③に変更する場合:「月額変更願(減額)」を学校に提出。
- ※通学形態に変更はないが、自宅外月額を自宅月額に変更する場合。